

今昔物語

その63

プロペラ船と熊野大橋

成川地区



昭和10年前後



現在

今回は、昭和10年前後に撮影されたプロペラ船と熊野大橋の写真を紹介します。プロペラ船は大正9年10月に新宮川原上空で行われた曲芸飛行機にヒントを得て開発されました。プロペラ船は船尾にプロペラを付けて進む船で、水深が浅くて船の喫水が制限されるところでも進むことができますことから、熊野川筋への運航に利用されていました。

写真を見ると、船尾のエンジン部分が、大人の身長と同じくらいの高さがあるように見えます。船が運航しているときは、エンジンやプロペラの風を切った音がものすごく大きく聞こえていたようで、騒音や振動が激しいと苦情が出ていたほどだったとか。

この後、昭和40年代初期に騒音・振動が改善されたウォータージェット船が主流となり、プロペラ船の運航が減少していきま

昔の風景写真を募集します

広報さほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限って、受け付けさせていただきます。このコーナーで紹介させていただくと思っております。詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。

ひょうたん屋

初めてのかかりつけ医

40歳半ば近くになり、最近自分が年をとったなと感じることの一つが、歳が近い人と話をしていると病気や体の話題が増えてきたことです。

もともと僕自身はあまり病院に行くのが好きではなかったのですが、2年ほど前に痛風を発症してからは定期的に通っており、大人になってから初めての「かかりつけ医」ができました。(余談ですが、新宮の病院に通っているものの、病院の方に「広報の愛野さんですか?」と聞かれてバレてしまいました。有名税!)

とは言え、僕の場合は運動不足が原因による体力の衰えが一番年をとったと感じるところなので、ちゃんと生活に運動を取り入れ、健康に気をつけていきたいと思えます。

(いい運動方法があれば教えてください 愛野裕基)

応募方法が変わりました!

今月号から、広報クイズの応募方法が変わりました!先月号まではハガキとメールでの応募でしたが、今月号からメールの代わりに二次元コードを読み込むと、応募フォームが表示されるので、そこから入力する方式になりました。

また、毎月みなさんからいただく「町や広報さほうへのひとこと」では、温かい応援メッセージや、町内のイベントや行事の感想などいろんなことを書いてもらっており、広報を作るうえで、すごくやる気をいただいています。この場をお借りし、お礼申し上げます。

意外と簡単にできますので、応募方法が変わったこの機会に、ぜひ応募してみてください!

(ほめられて伸びるタイプ 森雅貴)



広報担当
森雅貴



広報担当
愛野裕基

